



設置作業を行う実業高校の生徒たち



門松づくりを行うシルバー人材センターの皆さん



井上さん



安田さん

工課
商観

就職先求め積極アピール
庄原市合同就職面接会

市とハローワーク庄原が共同で主催する「庄原市合同就職面接会」を11月24日、庄原市ふれあいセンターで開催しました。

この面接会は、近年の厳しい雇用情勢の中、庄原で働く意欲のある方を広く募り、市内への就労支援と企業の人材確保を目的に、平成21年度から開催しています。

当日は、高校生から60歳代までの求職者、これまでで最も多い73人が訪れ、ブースを構えた市内の企業20社の中から、就職を希望する企業の面接に臨みました。参加者は、各ブースを積極的に回り自己アピールするなど、会場は



熱気あふれる会場

終始熱気にあふれていました。

企業からは「この面接会は庄原で働きたいという方と直接面接できるのが良い」と好評で、面接会終了後には早速「採用内定を出したい」といった話が数社からあり、求職者と参加企業にとつて有意義な面接会となりました。

涯課
生学

市内の文化財や史跡などを知る一冊
庄原市文化財ガイドブック販売中

市教育委員会は、市内の文化財や史跡などを紹介する『庄原市文化財ガイドブック―史跡・名勝・天然記念物編―』を販売しています。

ガイドブックには、市内にある国・県市指定文化財242件のうち、史跡・名勝・天然記念物97件を収録。古墳・城跡などの遺跡や天然記念物に指定されている動植物の特徴を写真や文章で紹介しています。

このガイドブックは、市内の各書店、生涯学習課各支所教育室で、1冊600円で販売しています。詳しくは、生涯学習課文化振興係（☎0824-731189）まで。

市教育委員会は、市内の文化財や史跡などを紹介する『庄原市文化財ガイドブック―史跡・名勝・天然記念物編―』を販売しています。

ガイドブックには、市内にある国・県市指定文化財242件のうち、史跡・名勝・天然記念物97件を収録。古墳・城跡などの遺跡や天然記念物に指定されている動植物の特徴を写真や文章で紹介しています。

このガイドブックは、市内の各書店、生涯学習課各支所教育室で、1冊600円で販売しています。詳しくは、生涯学習課文化振興係（☎0824-731189）まで。



B6版カラー、136ページの冊子

総務課

コミュニケーションの大切さを説く
庄原市人権講演会

12月4日から10日までの人権週間にあわせ、庄原市人権講演会を12月6日、市民会館で開催し、300人あまりが来場しました。

テレビ番組などでおなじみの弁護士菊地幸夫さんが、「出会いの人生から学んだこと」と題して講演。「弁護士」

「大学講師」、「地元小学生バレーボール部の監督」の経験から、子どもや学生たちとのコミュニケーションの大切さについて熱く語りました。子どもへのパレ―指導では「子どもたちを思い通りに動かそうと思っはいけない。子どもたちの意見を取り入れて練習を行い、子どもたちに自分で考えさせている」と話し、コミュニケーションから信頼関係を築くことの大切さを呼びかけていました。

来場者に行ったアンケートでは「考えて行動する人になりたいと思う」などの感想が寄せられました。



身振り手振りで話す菊地弁護士

総務課

門松と葉ボタンが来庁者をお出迎え
シルバー人材センターと庄原実業高校が設置

市は、庄原市シルバー人材センターから門松としめ縄、庄原実業高校から葉ボタンの寄贈を受けました。

12月19日、シルバー人材センター門松製作同好会の8人が、市役所本庁舎西側の玄関の両脇に、高さ約2メートルの門松を約1時間かけて設置。

また、11月21日には庄原実業高校

生物生産学科2年生が、白と紫色の葉ボタン約600株を一つ一つ寄せ植えし、縦1.6メートル、横3.9メートルの大きさの「庄原市」という花文字を約1時間かけて作製。玄関口に設置しました。

どちらも1月中旬まで飾られ、来庁者を出迎えるとともに、訪れた人の目を楽しませています。

林業振興課
農業振興課

鳥獣害対策の主役は「女性」です
庄原市さわやか女性会議と市が共催し講演会を開催

鳥獣害対策のヒントを学ぶ講演会「鳥獣害対策の主役は女性」が11月18日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

庄原市さわやか女性会議と市が共催するこの講演会に、鳥獣害に悩む農家の方や女性農業者など約120人が来場。鳥獣害対策のスペシャリストで近畿中国四国農業研究センター専門員の井上雅央さんと、鳥獣害対策を実践しながら「100歳になっても楽しめる畑」を目指している鳥根県美郷町の女性リーダー安田兼子さんから、鳥獣害対策に果たす女性の役割や実践事例などについて話を聞きました。

井上さんは「鳥獣害対策は、男性だけでは発揮できない女性の視点や、女

性の持つ横のつながりがとても大切。集落全体の取り組みへの大きな力になる」と述べたうえで、「対策で最も重要なのは餌付けをやめること。鳥獣にとつて人里が山より食べられない場所であり、危険な場所だと認識させることがポイントだ」と指摘。また、安田さんは「女性が一歩前に出ること、できることがあると思う。女性も男性も、お互いに知恵を出し、協力し合って助け合っていくことで、地域は活気と明るさを取り戻せる」と話していました。

そのほか、市内で鳥獣害対策を実践している2人の方が、それぞれ農業体験を発表。来場者は、うなずきながら真剣に耳を傾けていました。